

“聴く力”をしっかりと身につけてほしいです。

ここ最近ですが毎日2時間程度授業を観に行かせてもらっています。先生方がどのような授業をされるのか、みなさんがどのように授業を受けているのか、とても楽しみに観させてもらっています。

授業の最初に「お願いします！」ってあいさつ、良いですね。生徒も先生もお互いに「良い授業を作りましょう！」って気持ちを込めての「お願いします！」だと思います。形だけじゃない「お願いします！」が良いな。



参観していて少し気になることが…。先生の説明を聴く時のみなさんの姿勢です。あっ、座る姿勢っていう意味もあるけどここで言いたいのは聴き方ね。「話は目で聴け！」22の新米の時に当時勤務校の教頭先生がいつもおっしゃっていた言葉です。話を音としてだけで捉えたらアカンってこと。そこで1つ。さっきから上谷は「聞く」ではなく

「聴く」を使ってるのに気づいてました？この「聴」って字ですが、分解すると「耳+目(90°傾けたよ!)、心」どう？めっちゃ良くできていると思わない?!話し手の方を身体ごとしっかり向いて、話し手をしっかり見て、音としてだけでなく心で聴くんだ。話し手がどんな表情で、君に何を伝えたいかがよく分かるはずです。

コミュニケーションってまず大事なのは“伝える力”じゃなくて“受け取る力”、つまり“聴く力”なんだよ。話すの上手だけど、全く人の話を聴かない。これじゃアカンのよ。授業だけでなく、普段の会話とかも含めて、みんなには聴く力をしっかりと身につけてほしいと願っています。



全国学力・学習状況調査を行いました。

19日(火)の午前中、3年生が受験しました。今回は国・数・理の3教科のテストと学習状況を尋ねるアンケート調査でした。文部科学省のガイドブックには出題範囲としてこのように書かれています。

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

「勉強する＝暗記する」これはもはや当てはまらないということですね。「実生活での活用」や「解決のための工夫改善」であるということですね。



授業参観を行いました。



晴天の20日(水)丸1日授業参観を行いました。感染予防対策ということで1家庭につき1時間に限定し、しかも基本的に廊下から見ていただきました。何かとお忙しい中だと思いましたが、337人の保護者が学校に足を運んで下さりました。参加率57.2%と昨年11月の授業参観を大きく上回りました。上谷もグルグル教室を回ら

せてもらいました。3年生の英語では自己紹介のスピーチを英語で行っていたり、コロナにより制限の多い音楽は1年生で校歌を歌うのではなく、ハンドクラップで行ったり、1年生の道徳では数人のチームで課題に取り組んだり…。また観ていただいた通り、今年度1年生の英語と2年生の数学は1クラスを2分割し、少人数授業を行っています。コロナ禍ですので、以前のような活気のある授業はまだ戻ってきていないかもしれませんが、いろんな工夫をしながら、前向きに取り組んでいる様子は伝わったのではないのでしょうか。これからも基礎基本を大切にしながら、学んだことを活用できるような真の学びを目指して学校を挙げて取り組んでいきたいと思っています。

